

燃費を向上させること。
一人一人の小さな取り組みで
CO₂を減らすことができる。
環境のことを考えて、ボクも
エコドライブやってます。
byエコロン



ECO-ROAD

検索



ECO-ROAD

道から、ストップ温暖化。

EV急速充電器



環境に優しく安全・安心・快適なクルマ利用のために
阪神高速ecoでイコ!プロジェクト

■発行：阪神高速道路株式会社

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号
TEL：(06)6252-8121(代表)



 阪神高速



ボクのこと、
「エコロン」って
呼んでね。

阪神高速はチーム・マイナス6%に参加しています。



みんなで止めよう温暖化

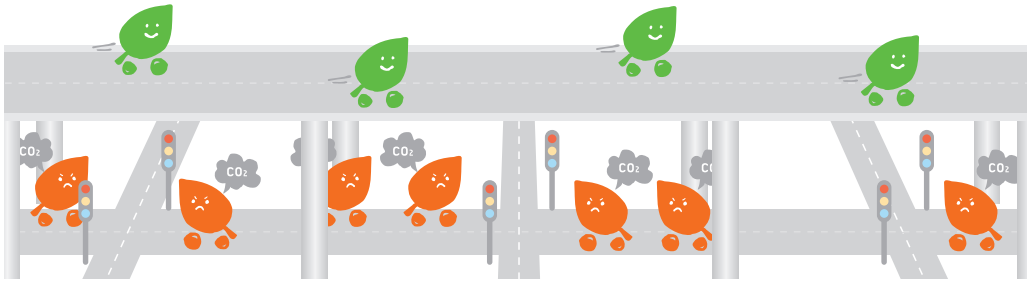
チーム・マイナス6%

高速道路って、じつは環境にやさしいのです。

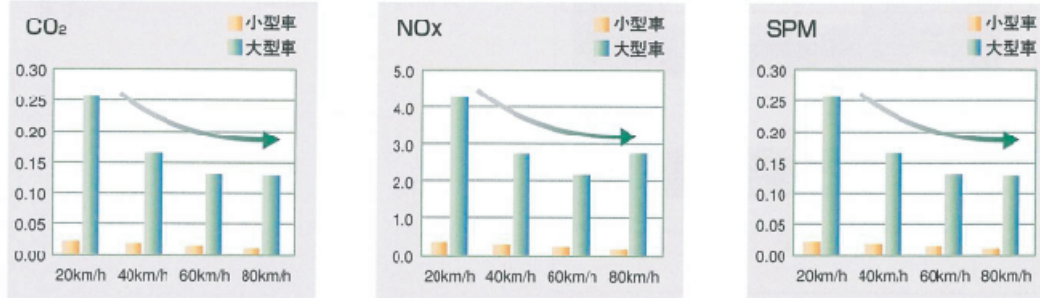
一般道路は交差点で停止・発進をくりかえしながら走らなければいけません。それに比べ高速道路は安定した速度でスムーズに走れるので、CO₂の排出は少なくなります。

時速60kmがエコ速度と呼ばれています。

また、高速道路を利用する車が増えれば、一般道路の混雑も緩和し、一般道路を走る車の燃費も改善されます。高速道路を走るのは、環境にもやさしいんですね。



■速度別排出量の変化



(出典：【国土技術政策総合研究所資料】14「自動車排出係数の算定根拠より作成」)

阪神高速道路ネットワーク(全体)を走行すると、一般街路を低速で走行する場合と比較して、

CO₂削減量： 550,000 t / 年 (約28%削減)

これは、大阪府で例えると、淀川以北(514km²)と同じ面積の森(常緑広葉樹)が1年間に吸収する量と同じになります。

※森林の年間吸収量：10.6t-CO₂/ha・年(出典：土地利用、土地利用変化及び林業に関する「グッド・プラクティス」イタノス(優良手法推計))

NO_x削減量： 1,400 t / 年 (約25%削減)

これは、普通自動車約60万台が電気自動車に置き換わる台数になります。

SPM削減量： 150 t / 年 (約40%削減)

これは、ペットボトル(2リットル)約38万本と同じになります。

※500ml容器=100g 東京都ホームページ

※一般街路の平均速度は23km/hとして、H17.11.16の交通量データをもとに算出しています。

ETC搭載は、木を1本植えるのと同じくらいエコ。

ETCを活用すれば、料金所での一旦停止がなくなり、さらに料金所付近の渋滞も解消されます。

ETCを搭載した車1台あたりで、
年間約11kgのCO₂を削減しています。

これは1本の樹木が1年間に吸収するCO₂に相当するのです。

また、交通事故や渋滞などの情報をリアルタイムに届ける交通システムVICSを利用すれば、渋滞を事前に知り回避できるので、ムダな運転、ムダなCO₂排出を抑えることができます。



ちょっとの気くばりで、みんながうれしい。 「エコドライブ10のすすめ」

すこしの時間でもアイドリング・ストップ

車内で人を待ったり、荷物の積み下ろしで短時間停車。ちょっとの間だからと、アイドリングしていませんか？でもたった5分で65ccを浪費してしまいます。アイドリング・ストップを心がけましょう。

このエコドライブで年間およそ、

0.7 本  の木を植えたことになります。



ふんわりアクセル「eスタート」でやさしく発進

10回の急発進で170ccの燃料を浪費するうえ、エンジンにもダメージを与えてしまいます。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりした気分で運転しましょう。

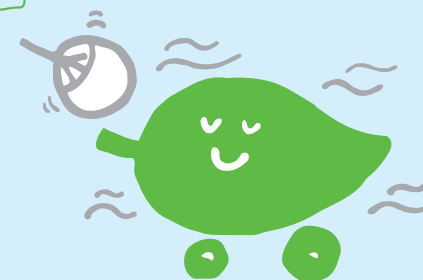
このエコドライブで年間およそ、

1.8 本   の木を植えたことになります。



たまにはエアコンを切ってみよう

エアコンの使用はエンジンに負荷をかけることに。特に夏場の冷やしすぎには注意。天気の良い日は、窓を開けてドライブしてみても？気持ちがいいし、エコにもいいですよ。



正しいタイヤの空気圧で快適ドライブ

ついつい見逃しがちなのがタイヤの空気圧。空気圧が0.5kg/cm²減ったタイヤで50km走行した場合燃料150ccを浪費することに。タイヤそのものの寿命にも影響してきます。安全運転のためにもマメに点検して、燃費のいい走りを。

このエコドライブで年間およそ、

1.6 本   の木を植えたことになります。

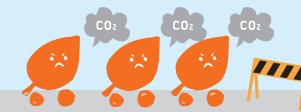
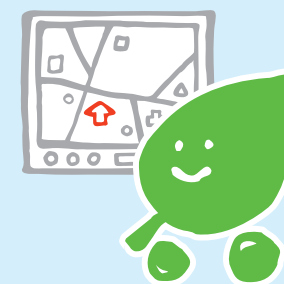


おでかけルートは計画的に

道に迷うと時間はかかるし、当然迷った分だけ燃料も浪費。1分余計に走ると、35ccのムダになります。地図やVICS対応ナビを活用して、スムーズで効率のいい運転を。

このエコドライブで年間およそ、

0.4 本  の木を植えたことになります。




不要な荷物とドライブしてませんか？

トランクに入っている必要のないモノたち。
これらの重みもエコドライブにとっては、まさに“お荷物”。
10kgの物（たとえばゴルフバッグ1式）を載せればなしで、
50km走行すると燃料15ccのムダになります。



このエコドライブで年間およそ、

0.2 本  の木を植えたこと
になります。

エンジンをかけたらすぐ出発

ガソリン乗用車の暖機は不要です。
寒冷地など特別な状況をのぞいて、
走りながらのウォームアップ走行で充分。
5分間暖機すると、160ccの燃料を浪費してしまいます。

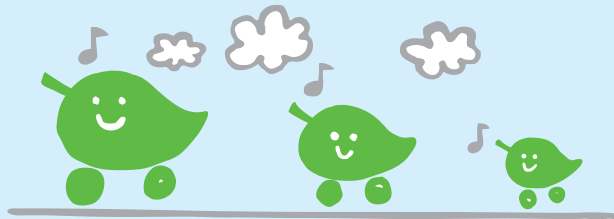


このエコドライブで
年間およそ、

1.7 本   の木を
植えたことになります。

安全な定速走行、それだけでもエコに

加速減速を繰り返しながら走行するのもムダのもとです。
また、同じ速度であれば、
高めのギアで走行する方が燃費はアップ。
交通状況をよく見て、
車間距離を充分とり、
安定した速度で走りましょう。



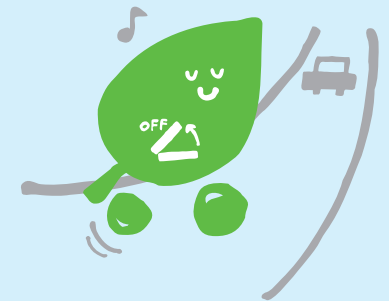
違法駐車も燃費ロスのもと


違法駐車は交通の妨げになり、渋滞の原因に。
渋滞で車の速度が遅くなると、
その分燃料のムダ使いも増え、
余分なCO₂を排出することに。
駐車場所には、
エコの面からも気をつけたいですね。



アクセルオフはお早めに

走行中アクセルから足を離すと、
エンジン回転数がある程度あれば
燃料供給が自動的にカットされます。
つまり、その間は燃料消費ゼロ。
早めにアクセルを戻して、エンジンブレーキで
減速しましょう。



 **エコドライブで**
一人あたり年間およそ

6 本 



の木を植えたこと
になります。

※樹木の換算本数は、「エコドライブ10のすすめ」の中で数値が明確な項目に対し、週1回のエコドライブを1年間(52週)続けた場合の本数です。
ガソリン1リットルで2.3kgのCO₂を排出し、樹齢10年のどんぐりの木1本が年間11kgのCO₂を吸収するという試算をもとに算出しています。